



平成29年12月14日

**第2回課題提案型ワークショップの成果発表会を開催します**

広島大学の大学院生や若手研究者たちが、企業と連携し2か月に渡って取り組んだ第2回課題提案型ワークショップの結果について発表します。

本ワークショップは、企業2社（株式会社ヒロツク、株式会社トイロ）が抱えている問題に対し、広島大学の学部生、大学院生、若手研究者たちが、産業界からの参加者と共同で、企業が抱える課題を発見し、解決を図る“課題発見・解決型研修”として実施したものです。

これまで、広島大学が中心となって取り組む「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」(※1)の一環として、学生・若手研究者の実践的能力を養成するための機会を提供してきました。

今回のワークショップにおける講義では、広島大学産学・地域連携センター新産業創出・教育部門がこれまで「ひろしまアントレプレナーシッププログラム」(※2)で構築してきたカリキュラムを活用し、考え方のアプローチ、テクニックやツールを習得しながら解決策を考えました。上記プログラム修了者も参加し、培ったアントレプレナーシップを発揮する場となりました。

学生たちが社会の課題をどのように掘り下げ、展開し、どのような解決策を提案するのか、また、自分の専門からの学びを産業界に活用した学生の様子を、是非ご覧ください。

## 記

【日 時】平成29年12月15日（金）13:00～17:15

【場 所】広島大学東広島キャンパス 中央図書館1F ライブラリーホール  
(東広島市鏡山 1-2-2)

【参加費】無料

【参加申込】不要

【当日プログラム】

## ◆基調講演◆

講師：島田 昌之氏（広島大学学術院 教授、株式会社 広島クライオプリザベーションサービス 代表取締役）

内容：「大学人が考える普及技術と普及する新技術のギャップ」

## ◆成果発表◆

学生・若手研究者で構成する検討グループ3チームによる成果発表

<思考型テーマ>

- ①「佃煮 Tsukudani のポジショニングをデザインする」(株式会社ヒロツク)
- ②「木の文化を再構築する」(株式会社トイロ)

<探求型テーマ>

- ③「佃煮 Tsukudani の付加価値をサイエンスする」(株式会社ヒロツク)

◆提案企業による講評◆

株式会社ヒロツク（課題提案企業）品質管理部次長

株式会社トイロ（課題提案企業）代表取締役

◆パネルディスカッション◆

「点を結んで、新しい価値を創る」connecting the dots, crafting new values

パネリスト：提案企業 2 社代表 × 学生・研究者各チーム代表 4 名

(※1) 文部科学省の実施する科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業「次世代研究者育成プログラム」の取組

(※2) 昨年度までは文部科学省グローバルアントレプレナー育成促進事業[EDGEプログラム：Enhancing Development of Global Entrepreneur Program])

【お問い合わせ先】

HIRAKU 運営協議会事務局（担当：細川）

Tel：082-424-6231

Email：hiraku@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 4枚（本票含む）

第2回

# 課題提案型 ワークショップ

## 成果発表会

企業と学生や研究者が交流し  
産業の抱える課題解決に挑戦

2017  
12/15 金  
13:00 - 17:15

広島大学東広島キャンパス  
中央図書館1F ライブラリーホール



#1

### 佃煮の ポジショニングを デザインする

株式会社ヒロツク × 学生・研究者

思考型テーマ

公式HP <http://www.hirotuku.co.jp/>

伝統食としての佃煮について学び、その強みを考え、「佃煮」の再定義を試みます。イノベーターな思考法を理解し、新しいコンセプトを生み出すためのプロジェクトです。



#2

### 木の文化を 再構築する

株式会社トイロ × 学生・研究者

思考型テーマ

公式HP <http://www.toiro.co.jp/>

木と触れ合う生活をどのように残せるかについて考えます。子どもたち、10代、20代の人たちが木と触れ合う機会を設計することで、新しい木の文化の育成について考え、見つけ出すプロジェクトです。



#3

### 佃煮の 付加価値を サイエンスする

株式会社ヒロツク × 学生・研究者

探求型テーマ

公式HP <http://www.hirotuku.co.jp/>

例えば、健康への効果や化粧品への応用など、佃煮の持つ潜在的な力を探ることで、新しい付加価値の創造を試みます。参加者の専門性も生かしつつ、佃煮を科学する方法を考え、その新たな用途を見つけ出すためのプロジェクトです。

詳細をスマホでチェック!

[http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/ws\\_2017/achievement\\_presentation/](http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/ws_2017/achievement_presentation/)





# 企業と学生や研究者が交流し 産業の抱える課題解決に挑戦

課題提案型ワークショップ成果発表会

社会が抱えている実際の課題やニーズを理解し、それらの課題解決のための種と一緒に探していくワークショップです。課題解決に向けたプロセスの中で、自分の専門性にとらわれない柔軟な発想力と応用力を身につけることを目的としています。今回は企業2社からの3テーマに基づき、半日のワークショップ計4回を通じてテクニックやツールを学びながら、2か月にわたって解決策をチームで考えてきました。

大学院生や若手研究者たちが産業界からの参加者と交わってアイデア出しやプロジェクト企画に取り組んだ結果について発表を行います。各提案課題からどのような解決策が生まれたのか、イノベーティブな発想法を身につけ、自分の研究力がどのように産業界で生かせるのか体感した結果を発表します。そして、演習に参加した学生代表と企業代表によるパネルディスカッションを通して、各ワークショップで得た学びを振り返りながら、この体験が実社会で生かせるものだという可能性を検証します。

12 / 15 金

- 13:00 開会挨拶
- 13:05 基調講演  
大学人が考える普及技術と普及する新技術のギャップ  
島田昌之  
広島大学学術院 教授 生物園科学研究科  
株式会社 広島クワイオプリザベーションサービス  
代表取締役
- 13:50 休憩
- 14:00 ワークショップを振り返って
- 14:10 成果発表
- 15:25 提案企業による講評
- 15:45 休憩
- 16:00 パネルディスカッション  
点を結んで、新しい価値を創る  
connecting the dots, crafting new values  
パネリスト | 提案企業2社代表  
×  
学生・研究者代表  
各チーム4名
- 16:50 全体総評
- 17:00 閉会



## 申し込み方法

[hiraku@hiroshima-u.ac.jp](mailto:hiraku@hiroshima-u.ac.jp)  
HIRAKU運営協議会事務局



12/8(金)までに、右記QRコードをクリックし、起動したメール内に表示される記載事項を明記の上で送信ください。もしくは題名に【第二回課題提案型ワークショップ 成果発表会 申し込み】と明記の上、①氏名 ②所属機関 ③部署・役職・学年 ④懇親会参加の有無を記載し、HIRAKU運営協議会事務局 ([hiraku@hiroshima-u.ac.jp](mailto:hiraku@hiroshima-u.ac.jp)) にメールをお送りください。席数に限りがございますので早目にお申し込み下さい。

日時	2017年12月15日(金)13:00から
会場所在地	広島大学東広島キャンパス 東広島市鏡山1丁目2番2号
成果発表会	中央図書館1Fライブラリーホール
情報交換会	北1レストラン(北1食堂3F) 参加費(学生:1,500円 社会人:2,500円)

主催	科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業(次世代研究者育成プログラム) 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」 <a href="http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/">http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/</a>
共催	広島大学 産学・地域連携センター「ひろしまアントレプレナーシッププログラム」 <a href="http://www.hirodai-edge.jp/">http://www.hirodai-edge.jp/</a> 広島大学 フェニックス協会 <a href="https://kyoryoku.hiroshima-u.ac.jp/">https://kyoryoku.hiroshima-u.ac.jp/</a>
後援	広島県 <a href="http://www.pref.hiroshima.lg.jp/">http://www.pref.hiroshima.lg.jp/</a> 中国地方総合研究センター <a href="http://www.crrc.or.jp/">http://www.crrc.or.jp/</a>